

令和8年10月1日

教員の公募について

国立大学法人 三重大学
大学院生物資源学研究科長
〔公印省略〕

本研究科において、下記要領で教員を公募いたします。

1. 職名・募集人員

助教・1名（女性限定）

2. 勤務形態

常勤（任期なし）

3. 所属

共生環境学専攻・農業土木学講座・土壌圏システム学教育研究分野

4. 講座および教育研究分野の教育と研究内容

農業土木学講座は、農業・農村の未来を構想し、人々が安全・安心・快適に生活できる地域社会のもと、多様な生態系が共生できる循環型の農村環境を維持しながら、生産性が高く、持続可能で安定した食料生産環境を実現することを目的とした教育・研究を行っています。これを通じて、様々な課題に対し、最新の知見をもとに専門的な立場から、三重県を中心とした東海圏の地域社会や行政機関、企業などと連携し、総合的かつ具体的な解決策を提案・実践できる技術者の育成を目指しています。また、JABEEプログラムを通じて、地球環境や農業・農村の環境について学び、農業土木学を基盤とする科学・技術を修得するとともに、農業と土木工学が融合した実践の場を体感できるカリキュラムを構築しています。

その中で、土壌圏システム学教育研究分野では、健全な土壌環境の保全と持続的な利活用を目指し、土壌物理学や水文・農業気象学を基盤として、屋内外でのモニタリング、数値解析などを通じ、土壌中の水分・熱・溶質移動と植物や気候との相互作用を含む土壌圏システムに関する教育・研究を行っています。

5. 担当予定授業科目

（学部）数値計算法，フューチャーアース論，土壌物理学実験，卒業研究 など

（大学院博士前期課程）土壌圏システム学演習，農業土木学特別研究 など

（大学院博士後期課程）特別演習，特別実験，特別調査研究 など

6. 応募資格・条件

- (1) 博士の学位を有し、博士前期・後期課程の学生の指導に熱意を持って取り組めること。また、学部学生の実験（土壌物理学分野）が担当できること。
- (2) 土壌物理学や水文・農業気象学に関する優れた研究実績を有すること。
- (3) 農地工学や土壌物理学、水文・農業気象学に関する基礎的な知識があり、相変化を伴う土中の水分や熱移動と植物や気候との相互作用の評価を通じ、健全な土壌の管理についての研究を、熱特性の計測センサーの開発から、それを用いた室内外の実験・観測、さらには数値解析までを通して遂行できること。
- (4) 海外の研究機関との共同研究を推進でき、留学生の指導もできること。
- (5) 農業工学および関連のエンジニアリング分野のJABEEによる技術者教育の意義を理解し、運営に積極的に取り組んだ実績を有すること。
- (6) 地域圏大学としての三重大学の目標を理解し、地場産業の育成につながる産学共同研究に積極的に取り組む意思があること。

三重大学では、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

※本学では、「三重大学ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」（令和4年12月27日）を行い、学内保育園や研究補助員配置など研究教育環境の整備やワーク・ライフ・バランス支援の取り組みを積極的に推進しています。詳しくは下記の URL をご参照ください。（<https://www.diversity.mie-u.ac.jp/>）

7. 応募書類（いずれも PDF ファイルで提出）

下記の（1）～（11）の情報を提出のこと。別々の11個の電子ファイルを作成するのが標準であるが、すべての情報が提出されれば、それにはこだわらない。

- (1) 履歴書（写真貼付）※本学指定の様式に限る。
- (2) 業績目録（原著論文、著書、総説、その他について、項目ごとに分けて発表時期の新しいものから順に並べ番号を付すこと）。原著論文については、自らの貢献度や実際に担当した部分について説明する文章（各200字程度）を添えること。
- (3) 上記業績目録に掛かる別刷（代表的なもの）
- (4) 研究費獲得実績、プロジェクト参加実績一覧
- (5) 教育実績一覧
- (6) 社会連携に関する実績一覧
- (7) 管理運営に関する実績一覧
- (8) これまでの教育研究活動に関する概要（A4判、1000字程度）。業績目録（2）の原著論文の文献整理番号を引用のこと。
- (9) 着任後の教育研究活動に関する抱負（A4判、1000字程度）。特に学部学生に対する農業土木学教育における自らの取り組みについて説明してください。
- (10) 応募者の連絡先（住所、電話番号、電子メールアドレス）
- (11) 応募者についての照会先（2名：氏名、所属、役職、電話番号、電子メールアドレスなど）

8. 応募期間 令和8年10月1日（木）～令和8年11月15日（日）（必着）

9. 選考方法

書類審査を主としますが、選考の過程で面接を行う場合があります。
面接の場合の旅費は、自己負担となります。

10. 着任時期

令和9年4月以降のできるだけ早い時期

11. その他

給与は三重大学年俸制適用教員給与規程による年俸制とし、年俸額は採用候補者の経歴などを勘案して決定されます。

※男女雇用機会均等法第8条(女性労働者に係る措置に関する特例)の規定に基づき、女性教員の割合をより増加させることを目的として、女性に限定した公募を行います。

12. 応募書類提出要領

応募書類を電子データで提出すること。応募希望の方には提出用URLを連絡するので、下記メールアドレスに11月2日(月)までに連絡のこと。メールの件名には「農業土木学講座・公募書類提出用URL希望」と記載すること。なお、複数のPDFファイルから作られたzipファイル等のアーカイブを提出することを、標準的な方法として想定しているが、方法は問わない。

三重大学大学院生物資源学研究科 共生環境学専攻

専攻長 教授 渡辺 晋生

E-mail: kunio@bio.mie-u.ac.jp

13. 問い合わせ先

三重大学大学院生物資源学研究科 共生環境学専攻 農業土木学講座

教授 渡辺 晋生(本件担当教授)

TEL: 059-232-1211(三重大学代表)

E-mail: kunio@bio.mie-u.ac.jp

14. 参考

農業土木学講座教員一覧(令和8年9月1日現在)

教育研究分野	教授	准教授	助教
農村計画学		森本 英嗣	
水資源工学		近藤 雅秋	伊藤 良栄
土資源工学	保世院 座狩屋		田中 宣多
農地工学			

水利施設工学	岡島 賢治		
土壌圏循環学		坂井 勝	
土壌圏システム学	渡辺 晋生		本公募

生物資源学研究科のホームページ

<http://www.bio.mie-u.ac.jp>

共生環境学専攻のホームページ

<https://www.bio.mie-u.ac.jp/academics/master-15/dep02/>

以上